

## Interview



あかし市民図書館 志水館長

## 従来の図書館の重い厳格な雰囲気 を香りで和らげ、人が集うきっかけに。

2017年1月27日、駅前に位置する商業施設内にリニューアルオープンした「あかし市民図書館」(「指定管理者(株)図書館流通センター」でH27年度より運営が決定)では、植栽の隣にディフューザー(芳香機)を置き、館内の香りが自然な印象になるように演出しました。あかし図書館のあり方、図書館における香りの役割について志水館長にお話を聞きしました。

### -あかし市民図書館リニューアル時のテーマを聞かせてください

「本のまちあかし」として、本の利用だけでなく市民の交流の場として、人が集まる図書館になるように工夫しました。

具体的には、一般書と児童書の間でコーヒーが飲めるラウンジを設け、従来の静かにしなければならない図書館ではなく、ザワザワしていても気にならない場所になるよう心がけました。今まで図書館をあまり利用したことがない方も利用しやすいような雰囲気を作ることができればと考えました。

### -香りを導入された理由を聞かせてください

以前勤めていた神戸市の図書館に香りが導入されていて、カウンター近くに香りがあることで利用者とのやりとりが柔らかくなった、と感じていました。今回香りを導入したのは、新しい図書館だからこそ、印象付けられる爽やかな空気感を香りで出せるのではないかと、また従来の図書館の重い厳格な雰囲気を香りで和らげることによって、人が集うきっかけになると思い導入を決めました。

### -香りを導入されてからの反響はいかがですか？

図書館に一步入ると、入口にはコーヒーの香りが漂い、閲覧スペースに向かうにつれ「コンディショニング(Conditioning)」のスッキリとした柑橘系の香りがふわりと香ってきます、場所ごとに違う香りがすることで、柔らかいけどメリハリのある、居心地のいい空間を演出していると感じています。ユニバーサルデザインに携わる方々が視察にいらした時には、視覚障害のある方にも印象づけることができる香りを導入するのは面白いアイデアだ、とご意見をいただきました。



## Aroma News

### 親子一緒に アロマでリラックス

2016年6月、余震が続く熊本で香りでも少しでもストレスを軽減していただこうとアロマ講座を開催しました。

前半は、お子さんと一緒にどうアロマスプレーを使うといいのか、リラックスするためにどのような使い方ができるのか、講座を聞きながら香りを体感しました。後半は嗅覚と視覚が相互に与える影響を考えながら香りとも色を組み合わせ、熊本の香りとは…女性らしい香りとは…など、それぞれが持つ香りのイメージを発表していただきました。当日は、20名以上の親子連れの方々にご参加いただきましたが、終始アットホームな雰囲気で進められました。

お帰りの際にエアアロマが被災地に無料配布した「リラックス&クリーンアロマスプレー」をお土産にお渡しして、終了となりました。



ご希望がございましたら香りのワークショップを行うことも可能です。ぜひお問い合わせください。

### インタビュー後記

以前、志水館長が務められていた神戸市では、すでに7図書館に香りが導入されています。

エアアロマジャパンとTRC様の取り組みがはじまった当初から先駆けて、香りを導入していただいています。志水館長は、実際に香りのある図書館を体感されているため、香りを図書館に導入する意義をよくご理解いただいていると感じました。エアアロマは今後も変わりつつある図書館の目的、問題、それぞれに合わせて香りの提案していきます。

## About Air Aroma Times

発行元: Air Aroma Japan 株式会社 文責: 吉田

158-0097 東京都世田谷区用賀4丁目10番3号  
世田谷ビジネススクエアヒルズ2

Office: 03 3709 1836 Fax: 03 3709 1837 www.air-aroma.co.jp

## Air/Aroma

アロマに関するご意見・ご質問等、随時募集しています。

mariko.yoshida@air-aroma.com